

おぐい



2005

5

NO.607

● 広報



季節

を訪ねて

- 1 -

春を感じる旬の味

「これかねば春でね～な」山からの雪解け水が冷たい小川で今年初めて採ったという“ひる”をゆすぐ舟山フサエさん（伊佐領）。雪深い小国で春の訪れを知らせてくれたのは暦ではなく、やはり自然でした。匂い、音、色、皆さんはどんな春を感じたのでしょうか。

みんなの 広場



4/18

本間とみさんに感謝状
お疲れ様でした



行政相談委員として長年活動し、三月末で退任された本間とみさん（小国小坂町）に、四月十八日、総務大臣からの感謝状が贈呈されました。本間さんは中学校教諭、町教育委員長を務められ、昭和六十二年四月から十八年の長きにわたり、行政相談委員としてさまざまな活動をしてこられました。

「これからも一人の町民として協力していきたいです」と話していました。

4/7

ひとみ輝く
ヒカヒカの一年生



新入生一人を迎えた伊佐領小学校の入学式が、四月七日、同校体育館で行われました。在校生や両親、地域のかたがたが見守る中、名前を呼ばれると、緊張した表情で元気に返事をした齋藤葉月さん。

「さんすうが好きなので、お家でドリルの勉強をしてきたよ。全部すいすいできたの」と話してくれました。「あいさつと一輪車乗りを頑張っって欲しい」と在校生に励まされひとみを輝かせていました。

小国町をもっと面白くしたい、町を活性化させたい、と集まった若者グループ「おも白い森」が、四月二十三日町民広場で、花見祭り「お花見で☆おも白い森」を開催しました。

会場はメンバーによる懸命の除雪作業により整備され、待ちわびていた観客を迎えました。当日集まった町民ら約300人は、雑穀料理や地酒、ステージでのバンド演奏など、手作りのイベントを楽しんでいました。

4/23

手作りのお祭り
お花見で☆おも白い森



—この人に聞く—



インドネシア共和国からの
高校生を迎える
小野さん一家

赤道直下から 白い森おぐにへようこそ

山形県が主催する「パプア州青少年交流事業」の一環として、インドネシア共和国パプア州から3人の高校生が小国高等学校を訪れました。3人は4月11日から2週間滞在されました。

今月は、ホストファミリーとしてヌルミアチさんを迎えた小野潤さん一家にお話をお聞きしました。

「娘からホームステイの話聞いたとき、面白そうだね、とすぐに賛成しました。パプア州からジャカルタ経由で東京までは16時間。その後バスにゆられて山形に着いた時にはとても疲れている様子でした。初日は、お互いに緊張していましたが、慣れるにつれて会話も弾むようになり楽しい時間を過ごすことができました。小国の味をと思いふきのとうの天ぷらを作りましたが、やはり苦手なようでしたね。無理強いせずにおいしく食べられるものを作り、もう一つのふるさとになるよう心がけました。今後も手紙などで交流を続けていけたらと思っています」

4/16

飛べ！走れ！ さわやガスポーツ少年団



四月十六日、町民総合体育館で平成十七年度小国町スポーツ少年団入団式が行われました。当日は、十一団体総勢百九十七名の団員が参加、本部長より入団の許可を受け、立ち幅跳びや五分間走などの

体力テストに真剣な表情で取り組んでいました。今年度は、小国町体育協会創立五十周年記念行事のオープニングイベントも開催され、スポーツをしながら交流の輪が広がられていました。

3/24

楽しくみんなで 英語のコミュニケーション



教育委員会が企画した小学生英語教室が、三月二十四日、総合センターで行われました。当日は、小国町英語指導手のキャサリン・クラークさんが講師を務め、小学生二十名のほか、アシスタントと

して中高生九名が参加しました。参加した子どもたちは、ジェスチャーゲームで自己紹介を行った後、英語のレシピでのクッキー作りなどに挑戦し、楽しみながら英会話を学びました。



子どもの笑顔が輝く町をめざして



おばあちゃんと楽しく

おじいちゃん おばあちゃんの背中で

育児に不安はつきものです。そんなとき家族やご近所、先輩お母さん達の助言はとても心強いもの。しかし、最近では身近に相談できる人が少なくなっています。そこで、今月は、子育て支援センターや、地域、サークルなどの取り組みに注目しながら、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを進めていくための町の子育て支援対策について考えてみたいと思います。

少し前までは乳幼児が育つ環境に、おじいちゃんやおばあちゃんの姿はなくてはならないものでした。近所の家に保育園の迎えを頼んだり、そのままお父さんやお母さんの帰りを待っている、そんなほ

のほのとした光景がどこの地域でも見られました。

近年では、核家族化、近所付き合いの希薄化が進み、そんな光景も徐々に見られなくなりました。核家族化率の現状をみると置賜の平均は四二・七%ですが、小国町は四六・四%と米沢市に次いで核家族化が進んでおります。

子育ての環境が変化している中で、子育てについてじっくりと話し合う時間や相談相手が少ない、不安を抱え、自信を持って子育てができなくなっているお母さんお父さんも多くなっているようです。

手探りの子育てを支援して

「子どもを生んで良かった。子育てが楽しい」と実感でき

るよう、地域全体で子育てを支援していく環境づくりを進めるため、平成十四年度に子育て支援センターを開設しました。

平成十五年度からは、毎月第二土曜日を「おぐにの子どもの日」とし、自然に親しんだり郷土料理をつくって楽し



あそびの広場での活動

む「こども愛ランド」を開催しています。また、毎週火曜日には、季節にちなんだあそびや親子あそびを紹介する「あそびの広場」を、毎週木曜日には、遊具を使って広い場所で自由に遊ぶ「なかよし広場」を開いています。広場

は、保護者の方の仲間づくりの場としてのほか、親同士の情報交換など子どもを通じての新しい出会いの場ともなっているようです。

子育ては、子どもたちからたくさんパワーをもらって、笑ったり、喜んだり、大人もいきいきとできます。でも、いつも楽しい事ばかりではありません。むしろ悩んだり、困ったりする事の方が多いでしょう。町では、こうした子育て等の精神的な負担を軽減するため、母親だけに育児を任せず、地域や町全体で子育てをしていくため、様々な事業に取り組んでいます。

**気軽におしゃべり
しましょう**

子育て支援センターで実際にお母さん方に接する井上幸子主任保育士に、子どもたちやお母さんたちの様子、これからの予定について聞いてみました。

「今まで娘として育ててもらっていた側から、出産した



井上幸子主任保育士

途端に親として育てる側になり、どう育てたらいいかわからず、不安になるのも当然の事だと思います。

あそびの広場等でも初めの頃は、家でお母さんと二人っきりの時間がほとんどだったため、他の子とのコミュニケーションがうまくできない子どもが多くなりました。今はみんな、私たちや他のお友達と仲良く遊ぶことができますようになりました。お母さん達も初めは私たちに自分の子どもを保育してもらえると、と思っていたようですが、徐々に「親子で楽しむ場」であるということがわかり、積極的に参加していただいています。お孫さんをつれてきたおばあちゃんに漬物の作り方を教わったりするなど、新しい交流も生まれています。

いろいろな活動をとおして、私たち職員とも信頼関係が生まれ、気軽におしゃべりをしたり相談をしてくれるようになりました。私たちに話をしたことで気持ち楽になり、笑顔が戻るお母さんの姿を見たとき、子育て支援の必要性を改めて強く感じています」



親子で楽しめる場を提供

地域全体で子育て支援

小玉川の学校区では、子どもたちが安心して生活できる環境を地域のみんなでつくろうと、平成十五年度から「地域が一体となった学童保育」を行っています。

学校が終わる午後四時〜午後七時頃までの間、小玉川へき地保健福祉館を地域の子どもの広場として開放し、安心して子育てのできる環境づくりに取り組んでいます。

P T Aの担当として活動している舟山宣明さんにお話をおうかがいしました。



舟山宣明さん

「両親が共働きで、おじいさんやおばあさんもいない子が学校から帰ると一人になってしまうという状況が発生し、地域でなんとかできないかというところから始まりました。初めの頃は保育者として、二人ほど頼んでいましたが、今はP T A会員が交代で子どもと一緒に楽しんでいきます。学校から帰る時も暗くなつた道を一人で家に帰るより、数人で同じ場所に帰る方が親としても安心です。」

小玉川学区の場合、P T Aは、子どもがいる家庭を正会員、そうでない家庭を準会員として、地域全体でP T A活動を行っています。

子どもの人数も少ないため、地域と一体となつた学校行事もたくさんあります。なによりも、生活する環境を地域で支援していかねば子ども達は残っていけないと実感しています」と、地域づくりに対する思いと願いを込めて話してくださいました。

わが子のようです

小玉川の学童保育で、実際に保育を行っている横山とよ子さん。

「以前は、保育士として小玉川保育園で子どもたちと接してきました。少子化が進み、現在は休園となっておりますが、このようなかたちでまた子どもたちと過ごせることを嬉しく思っています。短時間ですが、お遊戯室で遊んだり、夏は裏の栗林に行つて遊んだりしています。わが子のように接し

雪で折れた桜の木をかたづけ
横山さんと子ども達



ながら、少しでも地域のためになればと思っています」

太陽の光をあびながら

お母さん同士でお友達ができたことをきっかけにつくられた育児サークル「おひさま」では、毎月第三水曜日、小国の四季を満喫できるように行事を自ら企画し活動しています。サークルで活動されている須貝直美さんにお話をおうかがいしました。

「子どもが生まれて、初めは誰に相談していいかわからなくて悩んでいました。サークルに誘ってもらい、他のお母さんたちと話をしているうちに、みんな一緒なんだなと思うことで育児にも自信がもてるようになりました。」

いつも私に抱っこして離れなかつた子どもが、みんなにうちとけて遊んでいる姿を見た時には嬉しく思いました。サークルの中では、『自分の子



須貝さん親子

どもだけでなくみんなを叱つたり褒めたりできるようにしたいね」と話しています。リーダーにまかせつきりだった活

動も、これからは徐々に自分から計画をし誰か一人だけに負担がかからないようにしようという心がけています。おひさま」というサークルの名のとおり、太陽の光を浴びながら子育てをしていければいいなと思っています」

**お伺いします
子育てサロン**

平成十五年度からは、町内中心部だけでなく周辺部にも「あそびの広場」や「なかよし広場」の活動を普及していくと、出前形式の「子育てサロン」を行っています。同じ地域でも子ども同士の交流が少なかったり、戸惑いながら孫の面倒をみているおばあちゃんたちがいたりする事も少なくありません。

今年度からは地区を拡大して、四地区でそれぞれ三回ずつ行うこととしています。公民館などをお借りしながら、地域の皆さんと一緒にきめ細やかな事業を実施していきます。

..... **子育てサロン**

日 時	場 所	内 容
5月11日(水)	白沼老人憩いの家	積み木遊び 紙芝居
6月8日(水)	長沢公民館	
6月29日(水)	館公民館	
7月6日(水)	若山自治会館	
7月13日(水)	白沼老人憩いの家	手作りおもちゃ エプロンシアター
8月3日(水)	長沢公民館	
8月31日(水)	館公民館	
9月7日(水)	若山自治会館	
10月14日(金)	白沼老人憩いの家	小麦粉粘土遊び パネルシアター
10月28日(金)	長沢公民館	
11月2日(水)	館公民館	
11月9日(水)	若山自治会館	

問合先 健康福祉課 ☎61-1000

**ファミリー
サポートサービス**

今年七月から、子育てをお手伝いしたい方（協力会員）と子育てのお手伝いをして欲しい方（利用会員）が会員として登録していただき、その会員の皆さんが相互に育児の

援助活動を行う「ファミリーサポートサービス」を実施します。施設ではできない一時的な保育等に対応するものです。ほんの少し手を借りたい方と子育てをできる方で、お互いに協力しながら子育てを支援していくという取り組みです。利用会員は小国町内に在住

安心して子どもを生み育てるために

の方で、小学校低学年以下の子どもの保護者。協力会員は小国町に在住の方ならどなたでも会員に登録できます。また、利用会員と協力会員の両方を兼ねることもできます。子育ては大事な仕事です。何でも一人で解決しようと思わないでお気軽にご利用ください。

少子高齢化が進み、生活様式や価値観が多様化する中で、地域が一体となって子育てを支える仕組みづくりが求められています。

成果や結果が出るのはずっと先のことになるかもしれませんが、小国町のかわいい子どもたちが健やかに成長することは私たちみんなの願いです。子育てに関する町民のさまざまなニーズに対応しながら、今後安心して子どもを生み育てることができる喜びや、楽しみを持てる環境づくりに取り組んでいきます。

自立する

まちづくりをめざして

後期過疎地域自立促進計画のあらまし④

シリーズで紹介している小国町後期過疎地域自立促進計画について、今月は、五つの基本課題のうち「山村を担う人づくり」と住民と民間と行政の協働の力による地域経営の実践に向けた施策について紹介します。

山村を担う人づくり

急速に進行する少子化の中、未来を担う子どもたちが自らの地域を見つめ、郷土を愛し、主体的に地域活動に参加する意欲を養う施策を展開します。

このため、学校や家庭、地域社会の連携を深めながら、伝統文化や自然や歴史など町が持つ豊かな学習資源を最大限に活用した人材育成のための環境づくりを推進します。

また、住民一人ひとりが豊かな人間性と生きがいに満ちた人生を創造し、地域づくりやコミュニティ形成の場で活

躍できるよう、各年代層に応じた生涯にわたる学習機会の確保と体制づくりを進めます。

小中高一貫教育の推進

地域の子どもたちを地域で育てることは、まちづくりにおいても大きな意味を持ちます。そのため小学校から高校まで継続・系統的な教育の実践をめざす小中高一貫教育を推進し、教職員の交流や英語指導助手の確保等を行いながら、国際理解教育や情報教育の分野に力を注ぎ、国際社会の中で役割を果たしていくこ



新しい時代にふさわしい人材を育成

とができる人材を育成してきます。また、企業や県内大学等との連携を進め、勤労観や職業観の育成、高度な専門知識を得る体験学習を実施します。

教育施設機能の再編整備

少子化の進行に伴い、適正な集団教育と学校の社会化など、子どもたちにとって最も望ましい教育環境を確保していくことが求められています。このため、児童・生徒数の将来動向を踏まえ、学校規模など教育施設環境の在り方について総合的に検討していきます。また、地震などの災害に備

え、既存校舎の耐震診断を計画的に実施するとともに、情報・環境・国際理解など新しい教育課題へ対応するための環境整備を行います。

生涯学習・

生涯スポーツの推進

成熟社会を迎え、高度化、個別化する学習意欲にこたえていく学習機会や体制を整備するとともに、学習活動を地域づくりに活かす仕組みづくりを進めます。このため、平成十五年度に策定した生涯学習推進計画に基づき、「小国学」など多様な学習講座の開設や住民の自主的な芸術文化活動を振興していきます。

また、多様化するスポーツニーズに対応するため、指導者の養成とスポーツ・レクリエーションに関する情報を提供していきます。

「協働の力」による

地域経営の実践

地方分権改革が目指す分権

シリーズ4：後期過疎地域自立促進計画



豊富な森林資源を活かした「癒しの空間」を創出

す。本町において、こうした「森林セラピー基地」、
「セラピーロード」の導入を図り、町の持つ広大な森林空間や森林資源を活用した「癒しの空間」の創出や療法メニューなどの開発を

すすめる必要があります。白い森の多面的な機能の活用と情報発信を図っていきます。
二十一世紀は、環境の世紀ともいわれています。大量生産、大量消費、大量廃棄の時代が終わり、地球環境への配慮、リサイクルの取り組みが全国的に広がっています。
本町には、原始から動植物と人と自然が長い間共存共栄してきた文化があり、ブナをはじめとする広大な森林ステイジがあります。そこには、水資源、森林資源など自然エネルギー資源が豊富に温存されています。今後は、一層地域の特色を活かし、産業や教育とも総合的に連携した環境施策の充実を図りながら、自然を守り育て共生できる環境づくりと、森林資源を活かした自然エネルギー導入の事業化などを図り、環境時代にふさわしい「白い森づくり」を進める必要があります。

型社会においては、「自己決定と自己責任」の原則に基づいた住民自治が重視され、これまで以上に住民参加による地域経営を進めることが求められています。
そのため、行政のみではなく、住民自身やコミュニティ組織、NPO（民間非営利団体）、第三セクターなどの活動と協働し、相互に連携し、これまで以上に町が持っている地域資源や施策を活用していきます。また、本町を訪れる多くのかたがたとの交流と連携を図りながら「協働の力」

による地域経営の実践をめざしていきます。
現代社会は、日常生活のさまざまな場面でストレスが増大し、成人はもとより子ども、低年齢や不登校、自閉症など社会不適合の現象が起きています。そのような中、森林の持つ「癒し効果」を健康増進やリハビリに役立てる『森林療法（森林セラピー）』が産学官の連携で実証研究されています。本町において、こうした「森林セラピー基地」、
「セラピーロード」の導入を図り、町の持つ広大な森林空間や森林資源を活用した「癒しの空間」の創出や療法メニューなどの開発を

「白い森癒しの空間」づくり

環境にやさしい

循環型社会の構築

このため、本町にふさわしい持続可能な循環型社会の構築をめざし、住民、事業者、行政の責務と役割を明確にする環境基本計画を策定します。環境にやさしい安全で先進的な地域に居住するという「誇り」の醸成と新たな文化の創造、さらには木質素材を活かした自然エネルギーの導入やリサイクル事業などの施策を展開していきます。



豊かな資源の活用をめざして

シリーズで紹介してきた「自立するまちづくりをめざして」は今月号で終了させていただきます。

消防団長に渡部錬太郎氏就任



小国町消防団長の辞令交付式が四月一日役場で行われ、渡部錬太郎さんに町長から辞令が交付されました。渡部団

長は「前団長の小池泰男さんには五十五年間にわたる数々の消防団活動の功績に対し敬意を表します。今後町民から信頼される消防団活動に取り組んでいきたいと思っております。地域のかたがたと共に予消防に心がけていく事が重要であると認識を新たにしております」と力強く話してくださいました。

就任のあいさつ

今 正逸 教育長



このたび、4月1日付けをもちまして、小国町教育長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いをいたしております。

本町が進めております「小中高一貫教育」は、着実に成果をあげ高い評価をいただいておりますが、少子化に伴う小規模小中学校のあり方や小国高等学校の存続問題など、喫緊の重要問題も少なくありません。また、国においては“ゆとり教育”の見直しや義務教育費国庫負担のあり方が議論されるなど、教育界は大きな変革期を迎えておりますが、「まちづくりの基本は人づくり」を肝に銘じ、微力ながら誠心誠意努めてまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【略歴】 S23. 小国町生まれ
社会教育課長、企画課長、教育次長、病院事務長、総務企画課長を歴任

小中高リーダー研修会 活発な意見を交換



小中高リーダー研修会が、三月二十八日、小国高校で開催されました。小中高一貫教育の取り組みのひとつとして開催されているこの研修会には、町内の児童生徒二十七人が参加しました。

参加された皆さんは、各校の児童生徒会活動の様子を紹介しあったほか、あいさつ運動など、平成十七年度に取り組む小中高合同生徒会活動の計画について活発な意見を交換しました。

町長室から

小国町長 小野精一

春の火災予防運動が、四月九日から二週間にわたって行われました。四月十六日の火災予防パレードをはじめ、運動を展開していただいた消防団のかたがたや関係者の皆さんに感謝申し上げます。

今年に入ってから三件の建物火災が発生しており、お一人の尊い命が奪われるなど、誠にいたましく、憂慮に耐えない状況にあります。今年の統一標語は「火は消した? いつも心にきいてみて」

安全で、安心できる、住みよい地域をつくることは、町民みんなの願いです。薄れつつあると言われている地域の連帯をとり戻し、家庭や学校、地域や関係団体などが互いに連携しあい、火災のない町づくりをめざしていききたいと思います。



町立病院の内科に池田祐之
(ゆうし) 先生が就任し、四
月一日から診察にあたられて
います。
池田先生は、長井市の出身

町立病院内科に 池田祐之先生

で、平成十四年に岩手医科大
学を卒業後、山形大学医学部
付属病院、県立新庄病院で勤
務されました。

「小国には今回始めて来ま
したが、県内の出身というこ
ともあり雪の多さには驚きま
せんでした。病院の窓から見
える山々の美しさには毎日感
動しています。比較的高齢者
の患者さんが多い中、あなた
かい雰囲気のある診療ができ
るよう、常に心がけていきま
す」と語られました。



行政相談委員に齋藤恒助氏

齋藤恒助氏(緑町)が四月
一日付けで総務大臣から行政
相談委員に委嘱(新任)され
ました。

行政相談委員は、役所に関
する仕事について、住民の皆
さんから苦情や要望、意見等
を聞いて改善するように働き
かけています。私たちの生活
には、いろいろな役所の仕事
が関係しています。関係して
いるかどうか不明な事でも結
構ですので、お気軽にご相談
ください。相談はすべて無料
で、秘密は必ず守られます。

癒しの園 シリーズ 14

健康考話



さいわい荘施設長
安部 靖夫

さいわい荘には、
現在八十名の方が入
所されており、平
約八割が女性で、平
均年齢は八十四歳です。

また、要介護度四、五の方
(重度の方)は六十五パーセ
ントで、年々高齢化、重度化
が進む傾向にあります。

こうした中で、さいわい荘
では、「できるだけ家庭と同じ
ように生活ができる環境づく
り」に努めています。

高齢者の健康管理は大切で
す。看護師を中心にデイサー
ビスも含め、リズム体操や生
活リハビリを行い、健康の保
持に取り組んでいます。

食事は、利用者にとって一
番楽しい時でもあります。季
節感や希望を取り入れること
はもちろん、地元産品をふん



だんに使った「こだわり膳」
を週一回提供して、喜んでも
らっていますし、施設外での
食事でも楽しんでもらうなど
工夫をしています。
私たちが一番に気をつけ、
注意していることは、感染症
と食中毒です。特に、手洗い
やうがいを励行し、入所者や
利用者への感染には常に気を
配っています。
職員の意識を高めるため、
健康に関する講習会やビデオ
研修をはじめ、町立病院の阿
部院長の指導で自らの健康管
理にも力を入れています。
笑顔で声がけすることを忘
れないように、利用者の「今」
を大切に「今日の日を良い日
に」という思いで、職員一同
介護に取り組んでいます。

募集

町営住宅等の入居者募集

■町営住宅

▼幸町団地47-2-34

2K 1戸

▽対象 同居する親族があり、住宅に困っているかたで、平成16年度の所得額が月額二十万円以下のかた

■勤労者住宅

▼小坂町1号棟B304

2K 1戸

(家賃三万三千円)

▼小坂町1号棟A202

6月5日(日)

消防演習

- 第1会場(町民広場) 8:30~
観閲、点検、部隊訓練、ポンプ車操法訓練、すみれ保育園の園児による楽器演奏
 - 第2会場(アスモ周辺) 10:30~
火災防ぎょ訓練
 - 第3会場(小国小坂町) 11:00~
分列行進
 - 第4会場(役場東側駐車場) 11:20~
講評、表彰式
- ※第2・3会場で交通規制が行われるほか、第2会場では放水が予定されています。会場周辺のかたは、通行や洗濯物などに注意してください。

■問合せ先 町民課へ

2DK 1戸

(家賃三万八千円)

▽対象 小国町に勤務されているかた

■募集期間 5月6日(金)~13日(金)

■入居時期 6月上旬

■敷金 家賃の3カ月分

■申込・問合せ先 地域整備課へ

健康サポーター養成講座

高齢者の心と体の健康づくりを学びながら、その指導方法を地域に広める指導者を養成します。

■日程 6月~12月(計10回)

■対象者 心や体の健康づくりに関心のあるかたならどなたでも受講できます。

■申込期限 5月20日(金)

■申込・問合せ先 健康福祉課へ

自作視聴覚教材コンクール作品募集

■対象者 アマチュアのかた

■募集作品 自分で作ったスライド、ビデオ、TP、紙芝居、コンピュータソフトなど、学校教育や社会教育の教材として活用できる作品(ただし、他のコンクール等で入選していないもの)

■出品期限 11月7日(月)

■問合せ先 教育委員会事務局へ

森林ボランティア募集

■募集期間 5月20日(金)~31日(火)

■活動内容 森林保全のためのパトロール、森林環境教育のための森林教室や自然観察会などの開催、森林環境美化活動、下刈り・枝打

■対象者 18才以上27歳未満の男子のかたで、7月下旬から8月上旬に陸、海、空の部隊へ入隊できるかた、または10月に海、空の部隊

■試験内容 筆記試験(国、数、社)、口述試験、身体検査

■受付期限 5月20日(金)

■試験期日 5月28日(土)

■申込・問合せ先 自衛隊米沢募集事務所(☎0238-23-0011)へ

作業主任者技能講習会

■有機溶剤作業主任者講習会

▼日時 7月5日(火)、6日(水)(2日間) 午前9時~午後5時(初回の5日は午前10時~)

▼定員 百名

▼受講料 一万八千円(テキスト代を含む)

▼酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習会

▼日時 7月13日(水)~15日(金)(3日間) 午前9時~午後5時(初回の13日は午前9時30分~)

▼定員 80名

▼受講料 一万四千八百円(テキスト代を含む)

■場所 どちらの講習会も山形ビッグウイング(山形市)

防衛庁自衛官募集

■対象者 18才以上27歳未満の男子のかたで、7月下旬から8月上旬に陸、海、空の部隊へ入隊できるかた、または10月に海、空の部隊

■活動期間 6月~平成19年3月31日

■活動場所 置賜森林管理署管内の国有林野など

■申込・問合せ先 置賜森林管理署(☎0238-62-246)へ

医療事務実務科受講生募集

■受講対象者 35歳以下で、ハローワークに求職の申し込みをしているかた、学卒未就職者のかたなど

■内容 学科および実技講習、職場実習(4カ月間)

■定員 20名

■費用 二万二千五百円(テキスト代、健康診断料、保険加入代)

■申込期限 6月7日(火)

■申込先 求職の申し込みをしているハローワーク

■問合せ先 雇用・能力開発機構山形センター(☎023-647-0303)へ

ご案内

人権特設相談所開設

町では「人権特設相談所」を開設します。相談は無料で、秘密は厳守します。気軽に相談してください。

- 相談日 5月20日(金)、6月1日(水)、7月15日(金)、8月26日(金)、9月16日(金)、10月21日(金)
- 受付時間 10時～12時
- 場所 総合センター
- 相談員 人権擁護委員1名
- 問合せ先 町民課へ

裁判所見学会

- 日時 5月26日(木) 午後1時30分～午後4時

■場所 山形地方家庭裁判所米沢支部

- 内容 刑事裁判傍聴、裁判手続き説明、裁判員制度説明および庁舎内見学など
- 定員 予約受付順に30名
- 申込方法 事前に電話で申し込んでください。(土、日を除く午前8時30分～午後5時まで)
- 申込・問合せ先 山形地方裁判所米沢支部庶務課(☎0238-22-2165)へ

不動産競売

- 物件 米沢市ほかの市町村の宅地など約30件

■物件閲覧期間

- ▼非農地物件 5月19日(木)まで
- ▼農地物件 6月16日(木)まで
- 入札期間
- ▼非農地物件 5月12日(水)～19日(木) 午後5時まで
- ▼農地物件 6月9日(水)～16日(木) 午後5時まで
- 物件閲覧・入札場所 山形地方裁判所米沢支部

※入札は、所定の用紙で郵送も可能です。

開札日時

- ▼非農地物件 5月26日(木) 午前10時
- ▼農地物件 6月23日(木) 午前10時

■問合せ先 山形地方裁判所米沢支部(☎0238-22-2165)へ

旧日本赤十字社救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦の皆様へ

先の大戦において、外地等(事変地の区域または戦地の区域)に派遣され、戦時衛生勤務に服された旧日本赤十字

社救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦のかた(慰労給付金受給者を除く)に對して、そのご労苦に報いるため、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

- 請求期限 平成19年3月31日(2年間延長されました)
- 請求方法 健康福祉課の窓口(☎0238-22-2165)に用紙を記入し、申請してください。
- 問合せ先 健康福祉課へ

狂犬病の予防注射はお済みですか

犬を飼う場合、飼い主のかたは、愛犬に狂犬病の予防注射を受けさせる義務があります。

相談

年金相談

- 日程 5月18日(水)
- 受付 10:30～14:30
- 場所 役場町民相談室
- 内容 年金に関すること
- 問合せ先 町民課へ

子育て支援相談

- 相談日 6月13日(月)、8月26日(金)、11月2日(水)、平成18年3月22日(水)
- 受付時間 13:00～16:00
- 場所 置賜総合支庁西庁舎(長井市)
- 内容 子育てに関すること
- 費用 無料
- 申込方法 事前に電話で予約してください。
- 申込・問合せ先 置賜保健所地域保健予防課(☎0238-22-3205)へ

女性健康相談

- 相談日 毎週火曜日 13:00～
- 場所 置賜保健所(米沢市)
- 内容 女性の心身に関すること
- 申込方法 希望する日の前日までに、電話で予約してください。
- 申込・問合せ先 置賜保健所地域保健予防課(☎0238-22-3205)へ

精神保健福祉相談 思春期・青年期こころの相談

- 相談日と場所
- 【精神保健福祉相談】 毎月第1水曜日 14:00～ 置賜総合支庁西庁舎(長井市) 毎月第3木曜日(4～9月) 14:30～ 置賜保健所(米沢市)
- 【思春期・青年期こころの相談】 毎月第2水曜日 13:30～ 置賜保健所(米沢市)
- ※必要に応じて随時相談を受け付けます。
- 相談費用 どちらも無料
- 申込方法 どちらの相談も、電話で予約をしてください。
- 申込・問合せ先 置賜保健所地域保健予防課(☎0238-22-3015)へ

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◆三度目の正直 浅井 柑
 - ◆天使の梯子 村山 由佳
 - ◆水滸伝 15・16 北方 謙三
 - ◆なんにもうまくいかないわ 平安 寿子
 - ◆そのバイト語はやめなさい 小林作都子
 - ◆図説 源義経
 - ◆シナン 上・下 夢枕 獏
 - ◆天国の五人 ミッチ・アルボム
 - ◆命の授かり方 三原 紗貴
 - ◆女性天皇論 中野 正志
- ※ほか多数入荷しました。

今月の休館日

5月3・4・5日(祝日)・11日(水)

子育て支援センターから

まだ予防注射を受けていない場合は、早めに受けてください。
高齢犬や病気の犬は、獣医師に相談してください。
■問合せ 町民課へ

▽『あそびの広場』
■日程 5月17日(火)、24日(火)子育て講座(交通安全教室)、31日(火)、6月7日(火)

■時間 10時～11時30分

■場所 健康管理センター

※6月7日の場所は、総合センター集会室となります。

▽『なかよし広場』

■日程と場所
▼5月19日(木)、6月2日(木) 総合センター交流室
▼5月26日(木)、6月9日(木) おぐに保育園

■時間 10時～11時30分

▽『子ども愛ランド』
■日時 5月14日(土)

■時間 9時30分～12時30分

■場所 健康管理センター

■内容 親子で山菜料理とお楽しみ人形劇

※詳しいことは、子育て支援センター(☎62-2330)へ

求人情報

左の表は、4月13日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

「パートタイム労働ガイダンス」開催

- 日時 5月20日(金) 13:30～15:30
- 場所 アクティー米沢(米沢市)
- 対象 パートタイムで働きたいかたや転職を希望するかた
- 定員 20名程
- 参加費 無料
- 内容 再就職に向けての情報の提供など
- 申込・問合せ ハローワーク米沢 (☎0238-22-8155)へ

働く女性のみなさん

職場で悩んでいませんか?

職場内での、女性であることを理由にした不利な取り扱いや差別、セクシャルハラスメントなどの問題でお困りのかたは、雇用均等室へ相談してください。

- 相談受付 山形労働局雇用均等室 (☎023-624-8228) 月～金曜日 8:30～17:00

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
山和建設(株)	5人	土木施工管理技士、土木作業員、事務員	18～55	8:00～17:00
安部工業(株)	1人	土木作業員	不問	8:00～17:00
(株)船山工務店	1人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
大河内産業(有)	5人	ダンプ運転士、事務員	不問	8:00～17:00
(株)横川建設	6人	土木施工管理技士、重機オペレーター、廃棄物処理作業員	不問	8:00～17:00
(株)井上製作所	3人	マシンオペレーター	18～30	8:30～16:45ほか
猪野電気工事(株)	3人	電気工事	18～35	8:00～17:00
(有)小国技研	4人	洗浄工	30～65	8:00～17:00
山形おきたま農業協同組合	3人	農業機械整備	不問	8:45～17:00
小林建築	1人	大工見習	18～25	8:00～18:00
(株)トーコー新潟支店	5人	電子部品製造	不問	8:30～16:40ほか
東芝セラミックス(株)小国サイト	1人	製造開発、設備管理	～35	8:30～17:10
(株)アプロ仙台営業所	3人	機械設計	20～50	9:00～17:45
(株)インタープロジェクト仙台営業所	1人	機械設計	不問	9:00～17:45
翔礼交通(株)	1人	バス運転手	不問	9:00～18:00
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	保険営業	20～50	9:00～17:00
(有)白い森よこね物産品直売所	4人	販売、調理補助	18～45	9:00～20:00間の5時間
街コンズカンパニー第一ホール小国店	1人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
小国町森林組合	2人	造林作業	不問	7:30～17:00
(株)コメリ新潟地区本部	20人	販売員	18～30	9:00～18:00
(有)蔵王ストアー	2人	店員	不問	8:45～18:00
(株)肉の白萩屋	2人	精肉加工員、店員	20～45	8:00～17:30ほか
(有)新設、河原角農畜産加工施設	1人	農産物加工	18～40	8:00～17:00
(有)東部開発	10人	農作業全般	不問	8:00～17:00
(有)白い森調剤薬局	1人	薬剤師	1人	9:00～16:00ほか

保健カレンダー

月日	乳幼児健診	受付時間	対象	場所
6/17	1歳6カ月児健康診査	12:30~13:00	15年10~12月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳、問診票 (4カ月児、1歳児健康診査は除く)
6/24	4カ月児健康診査	13:00~13:15	17年2月生まれ	
	1歳児健康診査		16年6月生まれ	
6/29	ポリオ予防接種	13:00~13:30	16年6~12月生まれ	

■問合先 健康福祉課へ

人間ドックの費用を助成します

健康福祉課では、人間ドック検診料の約3分の2を助成します。

検診名	宿泊人間ドック	1日人間ドック
定員	30名(定員になり次第締め切ります)	120名(定員になり次第締め切ります)
助成額	検診料の約3分の2	検診料の約3分の2
自己負担額	男性 21,000円(検診料63,000円) 女性 21,700円(検診料65,100円)	男性 10,500円(検診料31,500円) 女性 11,200円(検診料33,600円)
対象者	町内に住む30歳以上のかた。ただし勤務先などで宿泊人間ドックを受けるかたは対象になりません。 また、昨年宿泊人間ドックを受診されたかたは対象になりません。	国民健康保険に加入していないかたで、平成17年4月1日現在で次の年齢のかた 30歳、33歳、36歳、39歳、42歳 45歳、48歳、51歳、54歳、57歳 60歳、63歳、66歳、69歳、72歳
申込先	町立病院へ	健康福祉課へ

■問合先 健康福祉課へ

国民健康保険からのお知らせ

●国民健康保険税を納めましょう

病気やけがをしたときや出産したときなどは、国民健康保険からさまざまな給付を受けることができます。その財源は、みなさんの保険税です。誰もが安心して医療を受けられるように、納期限内に忘れずに保険税を納めましょう。

●納付が困難なときは

災害など特別な事情により、国民健康保険税が納められないときは、保険税の減免などが認められる場合があります。納付が困難な場合は、町民課へ相談してください。

●理由なく滞納を続けると

- 保険証の有効期間が短くなる場合があります。
- 保険証を返却していただき「被保険者資格証明書」を交付します。この場合の医療費はいったん全額自己負担となります。
- 国民健康保険の給付(7割分)が全額、または一部差し止めになります。また、差し止められた保険給付額から滞納分が差し引かれます。

■問合先 町民課へ

ご存じてですか?

国民年金からのお知らせ

国民年金は老後の保障だけではありません

国民年金は老後の経済的支えとなるだけでなく、万一のときにも給付があります。

老齢基礎年金

保険料を25年以上(免除期間を含む)納めたかたが原則として65歳から受給できます。

障害基礎年金

加入中のけがや病気が原因で、政令で定める1級および2級の障害が残ったとき受給できます。

遺族基礎年金

加入中などに亡くなったとき、残された「子のいる妻」または「子」が受給できます。

■申請・問合先 町民課へ

町政懇談会を開催します

町では、各地域や団体のかたがたから身近な課題などをお聞きし、まちづくりについて意見を交換する町政懇談会を開催します。

■対象団体 各地区の自治会、婦人会、老人会、スポーツ・文化団体などで、話し合いにより、お互いに交流と理解を深め、まちづくりに積極的に参加する意欲的な団体

開催方法

○総務企画課に用意してある申込書に開催希望日時や懇談会のテーマなどを記入し、提出してください。

○懇談会には、町長、助役のほか、テーマに関係する担当課長などが出席します。

○会場の設定や進行は、各団体にお願いしています。

■申込・問合先 総務企画課へ

生涯学習支援事業

小国町教育委員会では、地域や団体で生涯学習に関する学習会や講演会を開催する場合には、講師謝礼の一部を負担します。

負担額

町外の講師の場合 二万円以内

町内の講師の場合 一万円以内

■対象 参加者が10人以上の学習会や講習会

■講師選定 主催団体で選定してください。

■申込方法 教育委員会に準備してある「事業計画書」に、必要事項を記入して申し込んでください。

■申込・問合先 教育委員会事務局へ

特設行政相談

■日時 5月16日(月) 10:00~15:00

■場所 総合センター

■行政相談委員 齋藤恒助氏

■内容 国や県、町などの役所や特殊法人の仕事への苦情および要望の相談

※特設相談日以外は、行政相談委員の齋藤恒助氏宅(緑町1丁目4番地 ☎62-2602)で相談に応じます。

■問合先 町民課へ

『小さな火山に捨てると大きな火』

空気が乾燥するこれからの季節は、山火事が起こりやすい状態になります。山菜採りやハイキングなど、野山に入るときは、次のことに協力してください。

- 強風・乾燥時の火入れ等を行わない。
- たき火等の場所を離れるときは、完全に消火する。
- 火入れを実施するときは、必ず許可を受ける。
- たばこの吸いがらは必ず消し、投げ捨てない。
- 火遊びをしない、させない。

置賜森林管理署

今年もご声援お願いします

東関部屋を招く会

山国合宿開催決定

■合宿日程 8月14日(日)~21日(日) 8日間

■稽古場所 東芝セラミックス相撲場

■参加者 東関親方、高見盛関ほか総勢20名

「東関部屋を招く会」の会員を募集します

■会費 3,000円以上(入会の方には記念のタオルを差し上げます)

■問合先 「東関部屋を招く会」事務局(産業振興課地域産業室内 ☎62-2111)

振り込め詐欺等に注意しましょう

架空請求やオレオレ詐欺等の被害に遭うかたが増えています。最近では手口が一段と巧妙になっています。

被害に遭わないために次のことに注意してください。

- 自分から先に子や孫の名前を言わず、相手に名乗らせましょう。
- 相手に家族の名前や住所を聞くなどして、本人かどうかを確認しましょう。
- 電話を切った後、必ず本人や家族と連絡をとり、事実を確認しましょう。
- 相手の泣き声等にだまされないようにしましょう。

■問合先 町民課へ

戸籍のまど

結婚おめでとうございます。

(小国町 井上久也
長井市 飯澤千春)

(南陽市 中村守
中島 山口由香)

(五味沢 佐藤智仁
米沢市 鈴木麻里)

(小国小坂町 田中幹雄
東原 舟山知江)

おくやみ申し上げます。

兵庫 舘 岩崎 みさ子 (67)

岩井 沢 嶋村 ヨネ (92)

北 加藤 きくよ (89)

中島 山口 幸男 (78)

増岡 嶋貫 由雄 (52)

兵庫 舘 堀 ヨシエ (83)

叶水 渡部 良 (57)

五味 沢 齋藤 トシヲ (69)

綱木 箱口 眞下 延弘 (63)

人口のうつき

人口 男… 4,823人(-62)

女… 5,070人(-59)

計… 9,893人(-121)

世帯数 3,268世帯(-40)

平成17年3月31日

皆さんの声をお寄せください

町長と語る日

■開催日と時間

毎月最終木曜日 9:00~16:00 (1回につき45分間)
※都合により日程を変更する場合は、広報でお知らせします。

■開催場所 役場3階 町長室

■懇談方法 事前に電話などで予約をしてください。予約がない場合でも、来客がない場合は懇談することができます。なお、懇談の席上には、総務企画課法務行政担当職員が同席させていただきます。

■申込・問合せ先 総務企画課 (☎62-2111) へ

町長室専用ファックス

■ファックス番号 0238-62-2611

町長専用電子メール

■メールアドレス shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

※いずれも随時受け付けています。

■問合せ先

総務企画課へ

■非公開 (不存在を含む)

2件
2項目

■部分公開

14件
16項目

■全部公開

27件
30項目

(合計)

▼教育委員会

2件
2項目

▼町

25件
28項目

■請求件数

平成16年度
情報公開制度の運用状況
平成16年4月1日～17年3月31日

平成16年度 個人情報保護制度の運用状況

個人情報登録件数 533件

(平成17年3月31日現在)

【内訳】

町	448件	教育委員会	37件
選挙管理委員会	16件	監査委員	12件
農業委員会	16件	固定資産評価審査委員会	1件
議会	3件		

■問合せ先 総務企画課へ

体育協会設立五十周年記念

シリーズ
健康・体力づくりのあゆみ

「小雨の中の 駅伝競走」

昭和三十年、新町「小国町」の誕生とともに「小国町体育協会」が結成されました。以来、運動種目の拡大や地域の交流の輪を広げながら、五十年という歴史を刻んできました。今スポーツは、体力・健康づくりなど日常生活には欠かせないものとなっています。時代の移り変わりを、写真や思い出とともにシリーズで紹介いたします。

「小雨が降る寒い日だったな」

一番初めの競技となった地



昭和三十九年 地区対抗駅伝競走大会の様子



区対抗駅伝大会。第一回大会の一区で力走された今謙悦さん（尻無沢）に思い出をおうかがいしました。

「当時私は高校四年生で、一区玉川口の駅まで北小国村チームの代表として走りました。自分は陸上部ではありません

せんでしたが、学校に行くにも歩いていましたし、普段の生活の中で農作業はかせないものでしたので、自然に足腰が鍛えられていたんでしょね。途中の赤芝では、向かい風で強風が口に入り、息が止まりそうになり苦しい思いをした記憶が鮮明に残っています。

一番嬉しかったのは、走った後に役場で木桶の風呂にいれてもらったことです。濡れて冷えきった体には最高のもてなし

でした」

今でも、駅伝大会が開催される時には、走った当時の事を思い出し、沿道に出て応援しているという今さん。タンスの奥に大事にしまわれていたメダルが光り輝いていました。

編集室から

四月から広報を担当します舟山美穂と申します。

広い小国町を駆けまわり、たくさんの方とお会いできることを楽しみにしております。

特集の取材で、小玉川を訪れていたとき、ししやま（熊狩り）をしているところ偶然出会いました。私にとって経験したことのない初めての出会いでした。残雪が残る雄大な山に、ししを追う「勢子」の声が響いたとき、この地で暮らすマタギの強さを感じました。

そして、里で帰りを待つ人たちのかたわらで、小さく見守るもう一つの春を見つけました。

今月の出会いに感謝、感謝です。

出会いとともに



ししやまを見守る小さな春

